

別紙3 被害防止計画目標評価報告書

被害防止計画の達成状況(令和5年度)

事業実施主体名 (協議会名)	構成市町村名	対象地域	実施年度	対象鳥獣	事業内容	事業量	管理主体	供用開始	利用率・稼働率	事業効果	被害防止計画の目標と実績								事業実施主体の評価	第三者の意見							
											作成年度	基準年度	目標年度	被害金額(万円)			被害面積(ha)										
														対象鳥獣	基準値	実績値	達成率	基準値			実績値	達成率					
亶理町総合農政企画推進協議会	亶理町	亶理町内	H29	イノシシ カルガモ カラス キジバト ドバト	有害捕獲	イノシシ 116頭 カルガモ 96羽 カラス 65羽 キジバト 14羽 ドバト 6羽	亶理町総合農政企画推進協議会					28	27	30	イノシシ	350	245	410	-57.143	3.5	2.45	3.5	0	○取り組み内容 改善計画に基づき、地域住民と協力(農作物の残渣・放置果樹について適正な除去)・情報共有や、実施隊・専門家の意見を反映しながら対策強化に努めた。 鳥類については水稲播種時期と、収穫時期前の年2回予察による駆除を実施した。 ○取組結果 前年と比較してイノシシの捕獲頭数は大きく減少しているが、侵入防止柵の増設等により生息範囲の広域化・非設置箇所への移動と考えられる該当箇所での、目撃情報・被害情報については昨年度と同じ位である。 また、鳥類については駆除を実施した結果、基準年と比較して被害面積は減少したが、野菜が被害を受けたため被害額は基準年より増大した。町内全域に生息しており、効果としては昨年度と同じ位である。 ○反省点・改善点 今後、更なる捕獲体制の見直しや被害情報の更新に加えて、出没のしやすい箇所など、重点的な生息域の把握に努めていきたい。	有害捕獲については捕獲数は減少しているが被害量は増加傾向にある。実施主体と同じ意見であるが捕獲体制の見直し、より一層鳥獣被害に取り組み必要がある。 目撃情報・被害情報だけでなく、捕獲地点とその箇所での捕獲頭数等から生息区域や被害増加が予想される地域を該当箇所を重点的に対策すべきである。(宮城県自然保護員より)		
				イノシシ	250	175									259.5	-12.667	2.7	1.89	4.52	-224.7							
			H30	イノシシ	250	175	259.5	-12.667	2.7	1.89	4.52	-224.7															
				イノシシ	250	175	259.5	-12.667	2.7	1.89	4.52	-224.7															
			H30.10	イノシシ	250	175	259.5	-12.667	2.7	1.89	4.52	-224.7															
				イノシシ	250	175	259.5	-12.667	2.7	1.89	4.52	-224.7															
			H31.2	イノシシ	250	175	259.5	-12.667	2.7	1.89	4.52	-224.7															
				イノシシ	250	175	259.5	-12.667	2.7	1.89	4.52	-224.7															
			R1	イノシシ カルガモ カラス キジバト ドバト	有害捕獲	イノシシ 68頭 カルガモ 87羽 カラス 55羽 キジバト 21羽 ドバト 9羽	亶理町総合農政企画推進協議会							31	30	33	イノシシ	410	369	406	9.7561	3.5	3.15			3.38	34.286
				イノシシ	410	369											406	9.7561	3.5	3.15	3.38	34.286					
			R2	イノシシ カルガモ カラス キジバト ドバト	有害捕獲	イノシシ 68頭 カルガモ 78羽 カラス 41羽 キジバト 11羽 ドバト 1羽	亶理町総合農政企画推進協議会							31	30	33	カルガモ・カラス・キジバト・ドバト	259.5	233.5	429	-65.192	4.52	4.06			4.37	32.609
				イノシシ	259.5	233.5											429	-65.192	4.52	4.06	4.37	32.609					
			R3	イノシシ カルガモ カラス キジバト ドバト	有害捕獲	イノシシ 71頭 カルガモ 84羽 カラス 44羽 キジバト 2羽 ドバト 19羽	亶理町総合農政企画推進協議会							R3	H30	R6	イノシシ	406	365.4	406		3.38	3.04			3.38	0
				イノシシ	406	365.4											406		3.38	3.04	3.38	0					
			R4	イノシシ カルガモ カラス キジバト ドバト	有害捕獲	イノシシ 29頭 カルガモ 76羽 カラス 41羽 キジバト 6羽 ドバト 1羽	亶理町総合農政企画推進協議会							R3	H30	R6	カルガモ・カラス・キジバト・ドバト	429	386.1	428.1	2.0979	4.37	3.93			4.37	0
				カルガモ・カラス・キジバト・ドバト	429	386.1											428.1	2.0979	4.37	3.93	4.37	0					
R4.10	イノシシ	有害捕獲	イノシシ 29頭 カルガモ 76羽 カラス 41羽 キジバト 6羽 ドバト 1羽	亶理町総合農政企画推進協議会							R3	H30	R6	イノシシ	406	365.4	406		3.38	3.04	3.38	0					
	イノシシ	406	365.4											406		3.38	3.04	3.38	0								
R4.10	イノシシ	定期巡回日当 車高借り上げ料	出動日数 388回	亶理町総合農政企画推進協議会							R3	H30	R6	イノシシ	406	365.4	406		3.38	3.04	3.38	0					
	イノシシ	406	365.4											406		3.38	3.04	3.38	0								
															合計	2170	1833	2406	-70.297	21.99	18.53	23.54	-45.05				

注 1:被害金額及び被害面積の目標欄については、対象鳥獣及び目標値を記載し、これに合わせて他の欄も記載する。
 2:事業効果は記載例を参考とし、獣種ごとに事業実施前と事業実施後の定量的な比較ができるよう時間軸を明確に記載の上、その効果を詳細に記載すること。整備事業を行った場合、捕獲率の向上にどのように寄与したかも必ず記載すること。
 3:「事業実施主体の評価」の欄には、その効果に対する考察や経営状況も詳細に記載すること。
 4:鳥獣被害防止施設の整備を行った場合、侵入防止柵設置後のほ場ごとの鳥獣被害の状況、侵入防止柵の設置及び維持管理の状況について、地区名、侵入防止柵の種類・設置距離、事業費、国費、被害金額、被害面積、被害量、被害が生じた場合の要因と対応策、設置に係る指導内容、維持管理方法、維持管理状況を様式に具体的に記載し、添付すること。